

# 令和8年度 ビジネス科 4年 シラバス

国語表現

地理総合

数学A

生物基礎

体育

論理・表現I

総合実践

マーケティング

観光ビジネス

ビジネス法規

簿記（2級・3級）

ソフトウェア活用

令和8年度 シラバス (国語表現)

教科	国語	単位数	2	学年(年次)	4年
使用教科書	国語表現(大修館書店)		副教材等	国語便覧(大修館書店)・常用漢字の級別学習(京都書房)	

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	小論文・レポート入門 ・小論文とは何か  ・反論を想定して書く  ・文章を読み取って書く ・統計資料を読み取って書く  ・発想を広げて書く ・レポートを書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文と作文の違いを踏まえて、筋道を立てて自分の意見を書く。</li> <li>適切な根拠を効果的に用いて、反論を想定した小論文を書く。</li> <li>文章の要旨をつかみ、資料に対する自分の意見を書く。</li> <li>統計資料から読み取ったことを踏まえて論点を整理し、小論文を書く。</li> <li>テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。</li> <li>客観的な根拠を集め、説得力のあるレポートをまとめる。</li> </ul>
	自己PRと面接 ・自分を見つめて ・効果的な自己PR ・将来の自分を考えよう  ・志望理由を書こう  ・面接にチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。</li> <li>事実やできごとを踏まえて、効果的な自己PRをする。</li> <li>調べたことを踏まえて、将来の自分について文章にまとめる。</li> <li>やりたいことや自己PRを結び付けて、説得力のある志望理由を書く。</li> <li>質問に対して、具体的に説得力のある答え方で答える。</li> </ul>
後期	会話・議論・発表 ・相手や場面に応じた会話  ・建設的な議論の進め方  ・スピーチをしよう  ・プレゼンテーションの工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面にふさわしい言葉遣いを考え、適切な言葉でロールプレイをする。</li> <li>話し合いのステップを意識しながら、協力し合って話し合いに参加する。</li> <li>話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。</li> <li>聞き手の興味を引くような工夫をして、わかりやすく発表する。</li> </ul>
	表現を楽しむ ・魅力的なポスターを作ろう ・「わが町自慢」のパンフレット作り ・働く人にインタビュー  ・たほいやゲームをしよう  ・「私の虫類図譜」を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>レイアウトやデザインを工夫してポスターを作る。</li> <li>内容の構成や冊子の体裁に工夫をしてパンフレットを作る。</li> <li>聞き取ったことを整理し、効果的な伝え方を工夫して文章にまとめる。</li> <li>辞書の言葉の定義の仕方を意識し、わかりやすく適切な定義を書く。</li> <li>想像を膨らませ、自分が考えた「虫」の特徴を、具体的にイメージが伝わるように書く。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値に対する認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けようとしている。
<b>【評価方法】</b> 定期テスト、提出物(ノートやレポートなど)、授業態度、漢字検定へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。		

令和8年度 シラバス (地理総合)

教科	地理歴史	単位数	2	学年(年次)	4年
使用教科書	高等学校 新地理総合(帝国書院)		副教材等	新詳高等地図(帝国書院)	

1 科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第1部 地図でとらえる現代社会 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界 第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。</li> <li>世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</li> </ul>
	3節 世界の言語・宗教と人々の生活 4節 歴史的背景と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>オセアニア・東南アジアの地形・気候などの地理的特色からどのような生活文化が営まれてきたのか理解する。</li> <li>言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのか、イスラームやヒンドゥー教を基に考察する。</li> <li>歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか、移民・植民地支配・国家体制の変化などの観点から考察する。</li> </ul>
後期	5節 世界の産業と人々の生活 第2章 地球的課題と国際協力 1節 地球的問題 2節 資源・エネルギー問題 3節 人口問題 4節 食料問題 5節 都市・住居問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えたのか、また、産業のグローバル化によって、人々の生活はどのように変化したのかアメリカ、東アジア、EUなどを例に考察する。</li> <li>世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決に国際協力が必要であることがわかる。</li> </ul>
	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</li> <li>生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

【評価方法】

定期考査、平常の学習活動、ノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。

令和8年度 シラバス (数学A)

教科	数学	単位数	2	学年(年次)	4年
使用教科書	新 高校の数学A (数研出版)		副教材等	なし	

1 科目の目標

図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 1. 図形の基本 2. 角の二等分線と線分の比 3. 三角形の外心、内心、重心	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求める。</li> <li>角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いて辺や線分の長さを求める。</li> <li>三角形の外心、内心、重心の定義とその性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求める。</li> </ul>
	4. 円周角の定理 5. 円に内接する四角形 6. 円の接線 7. 方べきの定理 8. 2つの円 9. 作図	<ul style="list-style-type: none"> <li>円周角の定理を理解し、角の大きさを求める。</li> <li>円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求める。</li> <li>接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求める。</li> <li>円の接線の長さが等しいことを理解し、辺や線分の長さを求める。</li> <li>方べきの定理を理解し、線分の長さを求める。</li> <li>2つの円の位置関係を動的な視点によって観察・分類する。</li> <li>さまざまな図形を、基本的な作図の組合せによって描く。</li> </ul>
後期	第2節 空間図形 1. 空間の直線、平面 2. 正多面体 3. 立体の切断 第3章 数学と人間の活動 1. 約数と倍数	<ul style="list-style-type: none"> <li>2直線のなす角、直線と平面の垂直条件、2平面の位置関係について理解し、角の大きさやそれらの関係性を求める。</li> <li>多面体や正多面体の定義を理解し、それらの頂点、辺、面の数を求める。</li> <li>立体を平面で切り取ったときの切り口の形や切り取られてできる立体について、どのような形状になるかを理解する。</li> <li>素因数分解を利用して、最大公約数と最小公倍数を求める。</li> </ul>
	2. ユークリッドの互除法 3. 2進法 4. 点の位置と表し方 5. 数学とゲーム・パズル	<ul style="list-style-type: none"> <li>互除法を用いて、2数の最大公約数を求める。</li> <li>2進法について理解し、2進法で表された数を10進法で表す。また、10進法で表された数を2進法で表す。</li> <li>平面上の点の位置を座標として読み取る。</li> <li>空間内にある点の位置を座標として読み取る。</li> <li>ゲームやパズルの中には、数学的な考えが活かされているものがあることを理解する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察している。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けようとしている。

【評価方法】

定期考査や小テスト、平常の学習活動、学習プリントやノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。

令和8年度 シラバス (生物基礎)

教科	理科	単位数	2	学年(年次)	4年
使用教科書	新編生物基礎(東京書籍)		副教材等	なし	

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	3編 ヒトの体の調節 第1章 ヒトの体を調節するしくみ ・体内環境 ・神経系による情報伝達 ・ホルモンによる情報伝達 ・血糖濃度の調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体内環境と体液の関係について理解する。</li> <li>・日常の場面から交感神経と副交感神経の作用について考える。</li> <li>・内分泌腺と分泌されるホルモン、その作用について知り、ホルモンが受容されるしくみを理解する。</li> <li>・血糖濃度の調節にかかわるホルモンの種類と、それぞれのはたらきについて理解する。</li> </ul>
	第2章 免疫のはたらき ・免疫のしくみ ・免疫の応用 ・免疫とさまざまな疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトは、免疫によって病原体などの異物から体を防御していることを理解する。</li> <li>・免疫記憶と二次応答について理解する。</li> <li>・予防接種のしくみを理解する。</li> <li>・アレルギーの定義や症状について理解する。</li> <li>・AIDSを例に免疫機能の低下による疾患について理解する。</li> </ul>
後期	4編 生物の多様性と生態系 第1章 植生と遷移 ・植生とその環境 ・植生の遷移 ・遷移とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境要因と環境形成作用の関係について理解する。</li> <li>・植生の遷移についてモデル的な過程に基づいて理解する。</li> <li>・世界のバイオームについて、気候や構成する生物種を知る。</li> <li>・日本のバイオームについて、遷移と関連づけて理解する。</li> </ul>
	第2章 生態系と生物の多様性 ・環境と生物のかかわり ・生物間の関係 ・生態系とかく乱 ・生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境によって生息する生物が異なることを理解する。</li> <li>・食物網、栄養段階と生体ピラミッドについて理解する。</li> <li>・種多様性の高さが生態系全体のバランスを保つことを理解する。</li> <li>・生物多様性の保全にはそれぞれの立場からの努力や協力が必要であることを理解する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
<p>【評価方法】</p> <p>定期考査や小テスト、平常の学習活動、ノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和8年度 シラバス ( 体育 )

教科	体育	単位数	2	学年 (年次)	4年
使用教科書	新高等保健体育 (大修館書店)		副教材等	新高等保健体育ノート	

1 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	体づくり運動 球技 (バレーボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>心と体は互いに影響し変化することに気付き、仲間と主体的に関わりあうことができる。</li> <li>状況に応じたボール操作と連携した動きによって攻防を展開することができる。</li> <li>技能の習得に主体的に取り組むことができる。</li> <li>チームや自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘することができる。</li> <li>ルールやマナー、フェアプレイを大切にしようとする事ができる。</li> </ul>
	球技 (バスケットボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じたボール操作と空間への侵入などから攻防を展開することができる。</li> <li>技能の習得に主体的に取り組むことができる。</li> <li>チームや自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘することができる。</li> <li>ルールやマナー、フェアプレイを大切にしようとする事ができる。</li> </ul>
後期	球技 (バドミントン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防を展開することができる。</li> <li>技能の習得に主体的に取り組むことができる。</li> <li>チームや自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘することができる。</li> <li>ルールやマナー、フェアプレイを大切にしようとする事ができる。</li> </ul>
	陸上競技 (長距離走)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペースの変化に対応して走ることができる。</li> <li>陸上競技に主体的に取り組むことができる。</li> <li>自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘することができる。</li> <li>一人一人の違いに応じた課題に挑戦したり、健康・安全を確保したりすることができる。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
<p><b>【評価方法】</b>                      平時の学習活動、実技においての技能の習得、学習プリント等を上記の3つの観点から評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和8年度 シラバス (論理・表現Ⅰ)

教科	英語	単位数	2	学年(年次)	4年
使用教科書	MY WAY Logic and Expression I (三省堂)		副教材等	高校英語の基礎づくり プレップイングリッシュ[4訂版]	

1 科目の目標

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、言語の背景などを学び、実際の英語使用の場において、目的や場所、状況などに応じて適切に英語を活用できる技能を身に付ける。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	中間 LESSON 6 Traveling Abroad  LESSON 7 Sports	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「不定詞」「動名詞」の文法を理解する。</li> <li>・題材に対し、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ちなどを MetaMoJi やパワーポイントを使い、発表する。</li> <li>・題材に対する有用な表現を学習し、ペアやグループになり、即興で自身の考えや気持ちを伝え合う。</li> <li>・「買い物」「旅行」「スポーツ」に関する表現を学び、ALT や他の生徒に対し自身の情報を伝える。</li> </ul>
	期末 LESSON 8 Everyday Technology	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「比較」の文法を理解する。</li> <li>・題材に対し、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ちなどを MetaMoJi やパワーポイントを使い、発表する。</li> <li>・題材に対する有用な表現を学習し、ペアやグループになり、即興で自身の考えや気持ちを伝え合う。</li> <li>・「電子書籍」「科学技術」に関する表現を学び、ALT や他の生徒に対し自身の情報を伝える。</li> </ul>
後期	中間 LESSON 9 Take Care	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関係代名詞」の文法を理解する。</li> <li>・題材に対し、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ちなどを MetaMoJi やパワーポイントを使い、発表する。</li> <li>・題材に対する有用な表現を学習し、ペアやグループになり、即興で自身の考えや気持ちを伝え合う。</li> <li>・「病院」「健康」に関する表現を学び、ALT や他の生徒に対し自身の情報を伝える。</li> </ul>
	期末 LESSON 10 SDGs – Take Action!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関係副詞」「仮定法」の文法を理解する。</li> <li>・題材に対し、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ちなどを MetaMoJi やパワーポイントを使い、発表する。</li> <li>・題材に対する有用な表現を学習し、ペアやグループになり、即興で自身の考えや気持ちを伝え合う。</li> <li>・「SDGs」に関する表現を学び、ALT や他の生徒に対し自身の情報を伝える。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学んだ文法、語彙や表現などの用法や意味を理解している。 学習した文法や語句を使い、自分の考えや意見を発信する技能を身に付けている。	本文の要点を捉えている。 学習した文法や語彙や表現、簡単な語句を用いて、相手を意識し、自分の考えや意見を伝え合ったり、発表したりする。理由や根拠を示しながら、文章が書ける。	新出語句や文法を主体的に理解しようとする。 自分の考えを伝え合ったり、発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとする。
【評価方法】定期考査、様々な活動のパフォーマンス評価、提出物、授業態度、英検に向けて取り組む姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。		

令和8年度 シラバス (総合実践)

教科	商業	単位数	2	学年(年次)	4年
使用教科書	総合実践(実教出版)		副教材等	総合実践演習用ノート	

1 科目の目標

商業の各分野に関する知識と技術を実践的活動を通して総合的に習得させ、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行う能力と態度を育てる。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	中間 第1編 「総合実践」の基礎 第1章 「総合実践」の学習にあたって 第2章 対応の心得 第3章 文書の作成 第4章 代金の支払い	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中は、実際の職場で働いているという気持ちを持ち、欠席をしないように学習に励む。</li> <li>対応の心得をよく守り、自分自身の言葉づかいや態度に心を配るとともに、相手の気持ちや要件をくみとる。</li> <li>今まで学習した「ビジネス文書検定」などの知識や技術を活用し取り組む。</li> <li>小切手、手形の作成と処理などについて学ぶ。</li> </ul>
	期末 第2編 基本取引 第1章 取引開始にあたって 第2章 仕入取引	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習は全て卸売商の立場で行い、今まで学習した「ビジネス基礎」、「簿記」などの知識や技術を活用し取り組む。</li> <li>商品売買業を営む個人商店を設定し、仕入れと販売、およびこれらに伴って発生する文書や経理に関する業務を体験的、実践的に学習する。</li> <li>仕入れに伴う発注、検収、代金支払いなどの業務について学ぶ。</li> <li>売買に伴う各種文書の作成、発信と受信などの記録方法について、仕入れる立場としての処理を身に付ける。</li> </ul>
後期	中間 第3章 販売取引	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売に伴う受注、出荷、代金回収などの業務について学ぶ。</li> <li>売買に伴う各種文書の作成、発信と受信などの記録方法について、販売する立場としての処理を身に付ける。</li> </ul>
	期末 第4章 取引のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の活動によって生じる諸経費の支払いと、会計伝票の集計および決算業務について、取引の流れを考えながら理解する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一連の商品売買の業務を実践的におこない、商業活動に必要な基礎的、基本的な知識と技術を総合的に身に付けている。	商業経営に必要な業務を合理的、能率的に処理する能力と態度が養われている。また、正しい言葉づかいやマナーを判断し、表現しようとしている。	“みずから考え、実行し、みずからの力で解決する”という自主的な学習活動をおこない、いろいろな業務に従事するために必要な積極性や責任感をもって取り組もうとしている。
<p><b>【評価方法】</b> 定期考査、面接テスト、課題提出状況、学習態度などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和8年度 シラバス ( マーケティング )

教科	商業	単位数	2	学年 (年次)	4年
使用教科書	マーケティング (実教出版)		副教材等	なし	

1 科目の目標

<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、マーケティングに必要な資質・能力を育成する。</p> <p>①マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>②マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>③ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
--

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	1章 マーケティングの概要 2章 消費者行動の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場環境の変化、マーケティングの発展などマーケティングに関する知識と意義、課題について理解する。</li> <li>消費者心理、消費者の意思決定の過程、購買行動、消費者のその後の行動に影響を及ぼす要因について理解する。</li> </ul>
	3章 市場調査 4章 STP	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場調査の目的と方法、市場調査に関する知識と技術などに基づいて必要な情報の収集と分析について理解する。</li> <li>市場調査で収集したデータを活用したセグメンテーション、ターゲティング、ポジショニングの概要について理解する。</li> </ul>
後期	5章 製品政策 6章 価格政策 7章 チャンネル政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品政策の概要と目的など製品政策に関する知識を理解する。</li> <li>価格政策の概要と目的など価格政策に関する知識を理解する。</li> <li>チャンネル政策の概要と目的などチャンネル政策に関する知識を理解する。</li> </ul>
	8章 プロモーション政策 9章 マーケティングのひろがり	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロモーション政策の概要と目的などプロモーション政策に関する知識を理解する。</li> <li>経済のグローバル化や観光地でのマーケティング、顧客ニーズの多様化など市場環境が変化する中で、マーケティングの考え方の広がりについて理解する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>企業における事例など実際のマーケティングと関連付け、ビジネスの様々な場面で役立つマーケティングに関する知識と技術を身に付けている。</p>	<p>マーケティングの様々な知識と技術を活用し、マーケティングに関する課題を発見し、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、科学的根拠に基づいて工夫し解決する力を身に付けている。</p>	<p>ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマーケティングを学ぶ態度と組織の一員として自己の役割を認識し、責任をもって取り組む態度を身に付けている。</p>
<p><b>【評価方法】</b> 定期考査ならびに課題、レポート等の提出状況とその内容、授業に臨む態度や発表と内容を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和8年度 シラバス (観光ビジネス)

教科	商業	単位数	2	学年(年次)	4年
使用教科書	観光ビジネス(実教出版)		副教材等	観光ビジネス準拠問題集	

1 科目の目標

<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、観光ビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>① 観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付くようにする。</p> <p>② 観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>③ ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	1章 観光ビジネスの概要	・観光ビジネスの担い手と特徴、観光ビジネスの動向、日本の観光政策、観光ビジネスと地域について理解する。
	2章 観光ビジネスの主な産業 ① 旅行業 ② 宿泊業 ③ 旅客輸送業 ④ 娯楽業 ⑤ その他の産業	・旅行業、宿泊業、旅客輸送業、娯楽業、その他の産業について理解する。それぞれの産業の役割と特徴について理解する。 ・それぞれの業務及び、地域との関わりについても理解する。 ・その他の産業として、博物館、飲食業、土産物屋の役割と特徴について理解する。
後期	3章 観光ビジネスのマーケティング	・観光ビジネスの顧客、観光ビジネスにおけるマーケティングの意義、観光ビジネスのマーケティング戦略について理解する。 ・観光資源とは何か、観光資源の保護と保全の意義について理解する。
	4章 観光資源の発見と活用	
	5章 地方自治体の観光政策 6章 観光ビジネスと観光まちづくり	・地方自治体の観光政策の概要、地方自治体の観光政策の実施内容について理解する。 ・観光まちづくりとは何か、観光まちづくりと地域の活性化のプロセスについて理解する。

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
企業における事例など実際の観光ビジネスと関連づけ、ビジネスの様々な場面で役立つ観光ビジネスに関する知識と技術を身に付けている。	観光ビジネスの様々な知識と技術を活用し、観光ビジネスに関する課題を発見し、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、科学的根拠に基づいて工夫し解決する力を身に付けている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら観光ビジネスを学ぶ態度と組織の一員として自己の役割を認識し、責任をもって取り組む態度を身に付けようとしている。
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>定期考査ならびに課題、レポート等の提出状況とその内容、授業に臨む態度や発表と内容を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和8年度 シラバス（ビジネス法規）

教科	商業	単位数	2	学年（年次）	4年
使用教科書	ビジネス法規（実教出版）		副教材等	なし	

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を育成する。

- ①ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解できるようにする。
- ②法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- ③ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	中間 1章 法の概要 2章 権利・義務と財産権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法とはどんなものか、その本質を明らかにし、法の体系を理解する。</li> <li>・われわれの生活は法律関係で成り立っている。その法律関係は即権利・義務の関係である。その権利・義務の意義、関係そして主体について学習し理解する。</li> </ul>
	期末 3章 財産権の変動 4章 企業活動と法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財産権の変動、権利の発生・変更・消滅はほとんど契約による。その契約について理解させる。また「ビジネス法規」学習の中核的部分の学習であることを理解する。</li> <li>・営利社団法人としての株式会社の法的意義を学習する。</li> </ul>
後期	中間 5章 企業責任と法規 6章 紛争の解決と予防 (前半部分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用主の立場から、労働者の保護の重要性と課題及び法規の概要について理解する。また企業の立場から、消費者の保護の重要性と課題及び法規の概要についても理解する。</li> <li>・紛争の解決方法として和解・調停・仲裁および民事訴訟のあることを学習し、それぞれの制度の特色を理解する。</li> </ul>
	期末 6章 紛争の解決と予防 (後半部分) 7章 税と法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紛争の予防制度としての公証制度を理解する。</li> <li>・確定判決の国家権力による実現としての強制執行のあることを理解する。</li> <li>・国税・地方税など税の種類と分類、法人税など法人に対する税、不動産に対する税及び、内国法人と外国法人の納税義務についても理解する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
企業における事例や不祥事など実際のビジネス法規と関連付け、ビジネスの様々な場面で役立つビジネス法規に関する理論と知識を身に付けている。	ビジネス法規の様々な理論や知識を活用し、ビジネス法規に関する課題を発見し、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、法的根拠に基づいて工夫し解決する力を身に付けている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネス法規を学ぶ態度と組織の一員として自己の役割を認識し、責任をもって取り組む態度を身に付けようとしている。
<p><b>【評価方法】</b> 定期考査ならびに課題、レポート等の提出状況とその内容、授業に臨む態度や発表と内容を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和8年度 シラバス (簿記)

教科	商業	単位数	3	学年(年次)	4年
使用教科書	簿記(東京法令出版)		副教材等	標準検定簿記問題集 全商2級 全商簿記実務検定模擬試験問題集 2級	

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業における簿記の仕組みについて理解し、取引の記録と財務諸表の作成に必要な能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第V編 特殊な取引 特殊な手形取引の記帳  第VI編 決算(2) 決算整理(その2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊な手形取引(書き換え・不渡り・営業外手形)について学ぶ。</li> <li>決算における減価償却費の計算、有価証券の評価、当座借越、費用・収益の繰り延べ、費用・収益の見越しについて学ぶ。</li> </ul>
	第VI編 決算(2) 決算整理(その2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>決算整理を含んだ8けた精算表、損益計算書、貸借対照表(控除形式)の作成方法について学び、資料をもとに財務諸表を正しく作成することができるようにする。</li> </ul>
後期	第VII編 本支店会計 本支店間の取引 本支店財務諸表の合併  第VIII編 会計ソフトウェア コンピュータを利用した 会計処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>支店会計が独立している場合の本・支店間の取引や支店相互間取引の記帳について理解し、本店と支店の財務諸表の合併に関する手続きについて学ぶ。</li> <li>未達事項について学び、それら进行处理する意義や考え方を理解する。</li> <li>会計ソフトウェアを活用するメリットや注意点を理解し、コンピュータを用いて効率的に取引进行处理する方法と財務諸表の作成方法について学ぶ。</li> <li>基礎的な活用方法に関する実習を行う。</li> </ul>
	発展的な内容 株式会社会計  その他の債権・債務 電子記録債権・電子記録 債務 クレジット売掛金	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社特有の記帳(設立・開業、剰余金の配当および処分、税務)について学ぶ。</li> <li>電子記録債権・電子記録債務の概要とそのしくみについて学ぶ。</li> <li>クレジットカードの取引に関する基礎的な知識とクレジットカードを用いた商品売買に関する記帳について学ぶ。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
簿記の基本的な仕組みについて理解し、実務に関連付けてビジネスのさまざまな場面で役立つ知識と技術が身に付いている。	簿記の知識・技術を活用し、取引に応じた場面での記帳が必要か考え課題を見だし、正しく判断できる力・適切に表現することができる力が身に付いている。	組織の一員としての役割を認識し、粘り強く学ぶ姿勢で、記帳などの内容と必要性を正確に理解し、主体的かつ責任を持って積極的に取り組もうとしている。

【評価方法】

定期考査、小テスト、課題提出状況、学習態度、検定試験へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。

令和8年度 シラバス (簿記)

教科	商業	単位数	3	学年(年次)	4年
使用教科書	簿記(東京法令出版)		副教材等	標準検定簿記問題集 全商3級 全商簿記実務検定模擬試験問題集3級	

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業における簿記の仕組みについて理解し、取引の記録と財務諸表の作成に必要な能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	中間 第Ⅰ編 簿記の基本 企業の簿記、資産・負債・純資産—貸借対照表—、収益・費用—損益計算書—、取引と勘定、仕訳と勘定への記入、仕訳帳と総勘定元帳、試算表、決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記が企業の経営活動を会計帳簿に記録し、計算・整理するための記帳技術であることを学ぶ。</li> <li>勘定について学び、財務諸表の役割と作成について学ぶ。</li> <li>簿記上の取引を仕訳して転記することが、簿記の基本となることを理解し、その記帳方法について学ぶ。</li> <li>決算の目的および一連の決算の流れについて理解し、手続きに必要な決算の方法について学ぶ。</li> </ul>
	期末 第Ⅱ編 各種取引の処理 現金・預金の記帳、商品売買の記帳、掛取引の記帳、手形取引の記帳 その他の債権・債務の記帳 有価証券の記帳 固定資産の記帳、販売費と一般管理費の記帳 個人企業の純資産の記帳 税金の記帳	<ul style="list-style-type: none"> <li>現金の入金・出金、当座預金の預け入れ・引出しの記帳、出納帳の作成方法、記帳について学ぶ。</li> <li>3分法による商品売買に関する取引の記帳について理解し仕訳や補助簿の記帳方法について学ぶ。</li> <li>商品受渡し前の代金の受払い、金銭貸し借り、金額や勘定科目が未確定な場合などの債権・債務の記帳方法などについて、どの場合にどの勘定科目を用いて正しく仕訳をするか学ぶ。</li> <li>有価証券や固定資産などについて知り、記帳について学ぶ。</li> <li>個人企業の純資産、各種税金の記帳方法について知る。</li> </ul>
後期	中間 第Ⅲ編 決算(1) 決算整理(その1) 第Ⅳ編 会計帳簿 帳簿、3伝票制による記帳 第Ⅴ編 特殊な取引 特殊な手形取引の記帳	<ul style="list-style-type: none"> <li>決算整理の意味と記帳法について理解する。</li> <li>8桁精算表・貸借対照表と損益計算書を作成する方法を学び、帳簿を締め切り正しい記帳方法を身に付ける。</li> <li>会計帳簿の種類と役割について学ぶ。</li> <li>伝票の起票方法について学ぶ。</li> <li>特殊な手形取引の記帳について学ぶ。</li> </ul>
	期末 第Ⅵ編 決算(2) 決算整理(その2) 第Ⅶ編 本支店会計 本支店間取引 財務諸表合併 第Ⅷ会計ソフトウェア コンピュータを利用した会計処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んだ決算整理について学び、計算方法や評価、費用・収益の繰延べ・見越しを理解し、正しく記帳できるようにする。</li> <li>財務諸表を正しく作成する方法を身に付ける。</li> <li>本支店会計間の取引や支店相互間の取引の基本的な記帳法と合併財務諸表の作成方法について理解し、企業全体の財政状態や経営成績を明らかにする方法を学ぶ。</li> <li>コンピュータ会計のメリット・注意点を理解し、会計システムを用いて効率的に取引の記録する方法を学ぶ。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
簿記の基本的な仕組みについて理解し、実務に関連付けてビジネスの様々な場面で役立つ知識と技術が身に付いている。	簿記の知識・技術を活用し、取引に応じた場面でどの記帳が必要か考え、正しく判断できる力、適切に表現することができる力が身に付いている。	組織の一員としての役割を認識し、粘り強く学ぶ姿勢で、記帳などの内容と必要性を正確に理解し、主体的かつ責任を持って取り組もうとしている。
<p>【評価方法】</p> <p>定期考査、小テスト、課題提出状況、学習態度、検定試験へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和8年度 シラバス (ソフトウェア活用)

教科	商業	単位数	2	学年(年次)	4年
使用教科書	ソフトウェア活用 (実教出版)		副教材等	全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集1級 全商情報処理検定模擬試験問題集1級	

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を身に付ける。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	企業活動とソフトウェア活用 ・ビジネスにおけるソフトウェアの活用 ・ビジネスにおけるソフトウェアの進化	・身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する。 ・社会で利用されている情報システムの例や、ビジネスにおけるソフトウェアの活用の実例を学ぶことにより、情報通信ビジネスにおけるソフトウェア活用の重要性を理解する。
	情報通信ネットワークの活用 ・情報通信ネットワークの導入と運用 ・情報資産の保護	・ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解し、それを活用するコンピュータやプリンタを LAN やインターネットに接続するための基礎的な方法や、情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術を身に付ける。
後期	表計算ソフトウェアの活用 ・表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 ・表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ	・表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付ける。 ・表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎を理解し、目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付ける。
	・手続きの自動化	・マクロの記録機能を用いて、手続きの自動化の考え方を理解し、基本的な技術を身に付ける。

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に関与し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

【評価方法】

定期考査、小テスト、課題提出状況、学習態度、検定試験へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。